

製品名: NEIL1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14545**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	NEIL1
別名	NEIL1; Endonuclease 8-like 1; DNA glycosylase/AP lyase Neil1; DNA-(apurinic or apyrimidinic site) lyase Neil1; Endonuclease VIII-like 1; FPG1; Nei homolog 1; NEH1; Nei-like protein 1
遺伝子 ID	79661.0
SwissProt ID	Q96FI4
免疫原	抗血清はヒト NEIL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

背景

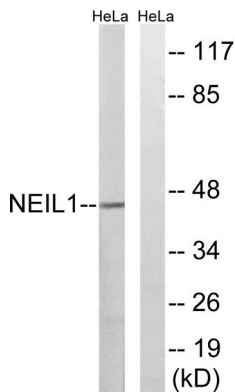
この遺伝子は、DNA グリコシラーゼをコードする Nei エンドヌクレアーゼ VIII 様遺伝子ファミリーのメンバーです。コードされてい

る酵素は、主に酸化ピリミジンなどの損傷塩基を除去することで塩基除去修復を開始し、DNA 修復経路に関与します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012年2月]触媒活性: DNA から損傷塩基を除去し、脱塩基部位を残します。触媒活性: DNA の脱プリン部位または脱ピリミジン部位の 3'側の C-O-P 結合は、 β 脱離反応によって切断され、3'末端不飽和糖と末端 5'リン酸を持つ生成物が残ります。機能: 酸化または変異原性物質によって損傷した DNA の塩基除去修復に関与します。損傷塩基を認識して除去する DNA グリコシラーゼとして機能します。チミングリコール、ホルムアミドピリミジン (Fapy)、5-ヒドロキシウラシルなどの酸化ピリミジンを優先的に認識する。8-オキソグアニンに対する活性は限定的である。AP (アプリニック/アピリミジン) リアーゼ活性を有し、DNA 鎖に切断を導入する。 β - δ 脱離によって DNA 骨格を切断し、除去された塩基の部位で 3'-リン酸と 5'-リン酸の両方を有する一本鎖切断を生成する。特に U:C および T:C ミスマッチにおいて、ミスマッチのウラシルおよびチミンに対して DNA グリコシラーゼ/リアーゼ活性を有する。誘導: S 期にアップレギュレーションされる。類似性: FPG ファミリーに属する。組織特異性: 普遍的。

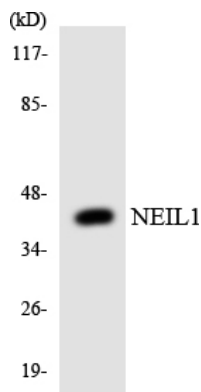
研究分野

塩基除去修復

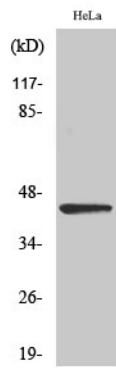
画像データ



NEIL1 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



NEIL1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



NEIL1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析